

各位

2023年12月20日
株式会社ドリーム・アーツ

ドリーム・アーツ、米 Fortanix 社との技術提携に関するお知らせ

～暗号鍵技術によりセキュリティ基準が厳しい
金融機関等に新たなソリューション提供が可能に～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、シリコンバレー発のデータセキュリティカンパニーFortanix 社（フォータニクス、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、CEO 兼共同創業者：Anand Kashyap、以下 Fortanix）と技術提携し、暗号鍵技術により「BYOK (Bring Your Own Key)」を実現する新たなクラウドセキュリティソリューションの提供を2023年12月に開始しました。本技術提携により、ドリーム・アーツは、業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」のデータ暗号化時の鍵をより厳密に管理することが可能となり、金融や医療領域に代表される、より厳格なセキュリティ基準への適合が要求される業界や企業に対してもソリューションの提供が可能となります。

DreamArts

Fortanix®
Look. Know. Further.

■技術提携の目的と背景

昨今、データのクラウド上での取り扱いが増えており、多くの業界や企業においてデジタル化のニーズが高まっています。なかでも、金融、保険、医療、製造業などに代表されるデータの機密性や完全性といったより高いセキュリティ基準を求める業界や企業においても、クラウドシフトは加速しています。一方、セキュリティへの懸念もますます高まっており、デジタル技術で先行する米国では、データの暗号化と暗号鍵の所有の分離を実現する「BYOK」という考え方が浸透しつつあります。

本提携によって Fortanix 社から提供される暗号鍵技術により、ドリーム・アーツが提供する SmartDB®では「BYOK」を実現し、データと暗号鍵の所有者を分離することが可能となります。データを保持するクラウド事業者であるドリーム・アーツが、万一セキュリティ侵害等を受けてデータ漏洩が発生しても、そこには鍵が含まれないため、クラウド上のデータは安全性が保たれます。そのため、暗号鍵技術により高いセキュリティ基準に応えられる SmartDB®は、金融機関などセキュリティ基準が特に厳しい企業においても安心してご利用いただくことができます。

今後、ドリーム・アーツと Fortanix 社は、これまでセキュリティ水準との兼ね合いでクラウドサービスを利用できなかった企業に対して協働でプロモーション活動を行い、安心・安全な環境のもとでのクラウドサービス活用を推進してまいります。また、ドリーム・アーツは、日本の大企業における高いセキュリティ水準でのデジタル活用の拡大を牽引し、ミッションである「デジタルの民主化^{※1}」の進展とマーケットの拡大に貢献します。

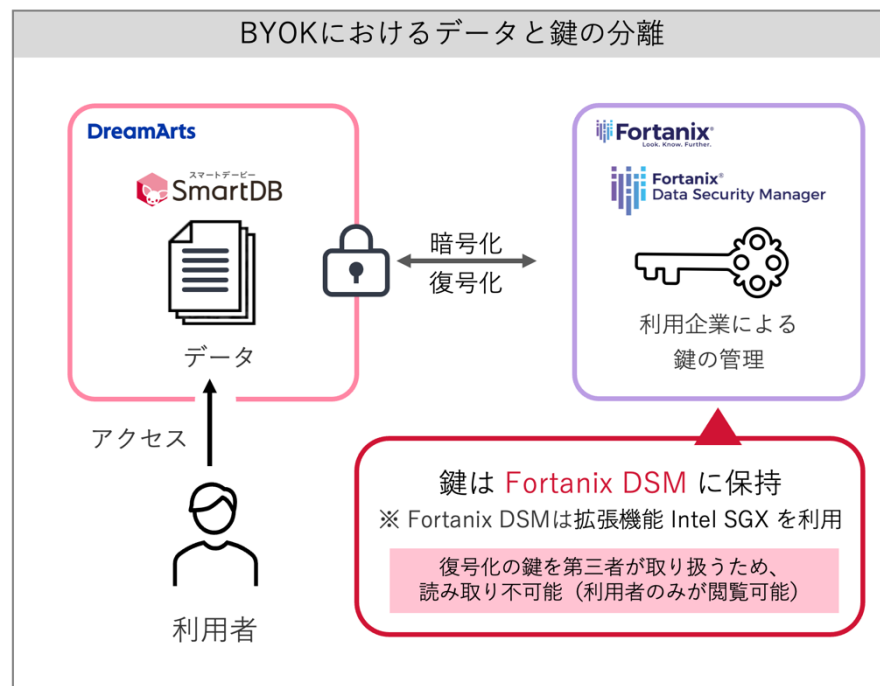
※1 現場部門（非 IT 部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://www.dreamarts.co.jp/democratization/>

■ 「BYOK」 と SmartDB[®]

Fortanix が提供する暗号鍵技術である KMS(Key Management Service)「Fortanix DSM」とドリーム・アーツが提供する「SmartDB[®]」の連携により、「BYOK」を実現します。

【イメージ：BYOK によるデータと鍵の分離イメージ】



「BYOK」とは、利用者がクラウドサービスを利用する際に、自身で用意した鍵を適用してデータを暗号化して保存する仕組みです。通常クラウドサービスでは、データを暗号化して保存していますが、その際、暗号化に利用する鍵はクラウド事業者が用意し管理します。復号の際も同様にクラウド事業者が管理する鍵を使います。この状態では、クラウド事業者の内部に悪意を持った人が存在する、想定外にデータが漏洩するといった場合、鍵にアクセスしてデー

データを復号し利用者のデータを読み取ることは本質的には防げず、運用規定や権限の分離、監視機構によってこうした状況の発生を防御している状況です。特に、取り扱うデータの中身が機微なものになるほど、リスクとして捉える傾向が高くなります。

それに対し「BYOK」は、クラウドサービス事業者が一切鍵を保持することなく、クラウドの利用者が暗号化プロセスのもととなる鍵を自身で準備し、それをもとにデータの暗号化を利用者自ら管理できることとなります。つまり、クラウドサービス事業者であるドリーム・アーツおよびサービスのインフラ基盤を提供する電気通信事業者は、データの読み取りが不可能となり、完全に利用者のみが閲覧可能な状態を実現します。

SmartDB®には暗号化されたデータのみが保持され、万が一ファイルやバックアップデータの流出や物理的な機器の流出が発生した場合も、データが閲覧されることはありません。この仕組みが実現されることにより、クレジットカード番号やマイナンバーなど、機密性が高く、厳しいセキュリティ要件が求められる業務にまで SmartDB®の利用範囲が広がります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

Fortanix 社について <https://www.fortanix.com/jp/>

Fortanix のデータファーストのアプローチは、あらゆる規模の企業がオンプレミス、クラウド、およびその間のあらゆる場所でセキュリティソリューションを最新化できるよう支援します。世界中の企業、特にヘルスケア、フィンテック、金融サービス、政府機関、小売業などプライバシーに敏感な業界の企業は、データセキュリティ、プライバシー、コンプライアンスに関して Fortanix を信頼しています。Fortanix には、Goldman Sachs、Foundation Capital、Intel Capital、In-Q-Tel、Neotribe Ventures、GiantLeap Capital などの投資家が支援しています。Fortanix はカリフォルニア州サンタクララに本社を置いています。

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®」、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん®（ショッピングラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX®（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

「SmartDB®(スマートデービー)」について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※2)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2 テクノ・システム・リサーチ「2022 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア」より

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当（佐藤）

TEL：03-5475-2501 E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2023 DreamArts Corporation.